

# 東京都病院協会 会報

**Alico アリコジャパン**  
アメリカン ライフ インシュアランス カンパニー

東京都病院協会  
医療共済制度 引受保険会社

東京都墨田区錦糸1-2-4 AIGタワー18F  
アリコ ジャパン 全国法人開発部  
TEL(03)5619-3827

2010年(平成22年)6月25日

第158号

毎月1回 定価 200円(会員購読料は会費含む)

発行所: 一般社団法人東京都病院協会 / 発行人: 河北博文 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館内306号  
TEL:03-5217-0896 / FAX:03-5217-0898 / URL: http://www.tmha.net / E-mail: tmha@mri.biglobe.ne.jp

## 「安藤たかお 東京都病院協会副会長に聞く」

渉外・広報・会員組織委員会  
委員長 中西 泉



安藤 たかお

七月十一日に予定されている参議院議員通常選挙の予定候補者として、民主党から公認を受けている安藤たかお当協会副会長は、東京都病院協会をはじめ、日本医療法人連盟・全日本病院政治連盟・日本病院会政治連盟・日本精神科病院政治連盟・日本慢性期医療協会・日本医師連盟・東京都医師政治連盟・全国老人保健施設連盟ほか、各職種団体からの推薦を受け、医療・介護に関係する各方面から支援の輪が広がっています。

「私は、治せる病気は確実に早く治し、治せない病気でも満足したケアを提供したい。そのためには、人間的にも技術的にも優れた良い医師とスタッフを育成することが重要だとの信念を

持っています。更には安心して任せられる医療機関を確立すべきです。いつでも診察を断らず、安全で質の高い医療環境をつくるのが重要であり、また、その結果として医療・介護を通じた人づくり・街づくり・国づくりを目指します。」と力強いお話がありました。

また、安藤先生は、この二ヶ月あまりで、三十五都道府県の病院・介護施設・病院協会・医師会等の訪問を通して、「この地域も医師不足・看護師不足・超過勤務・加重労働・地域格差・官民格差・患者さんのニーズの高まりによる訴訟リスクの増大・臨床研修医制度の問題など、様々な問題が複合的に重なり合い、想像していた以上の厳しい状況にあることを実感した。」とも語っておられます。

安藤先生は三つの提言をされています。

- 一、医療崩壊・介護崩壊を防ぐ。
- 二、医療・介護の質を向上し、国民の満足度を向上させる。
- 三、医療機関や介護施設の経営を改善する。

その中でも喫緊の課題として、以下のことについてさらに具体的な提言がありました。

「救急医療については、救急医療の

崩壊による地域医療の崩壊を防ぐため、二次救急医療の強化をします。」

「医療療養病床の増床と介護療養病床廃止の撤廃については、二次救急医療の後を受ける亜急性期、回復期、そして療養病床のスキルアップが必要で、急性期病棟の平均在院日数が短縮されたため、重症で合併症が多く、要介護度が高く、認知症を持っている患者さんが退院させられている現状に対し、その受け皿としての医療療養病床の重要性が一層高まっています。受け皿としての機能を強化すると同時に十分な病床の確保を目指します。また、介護保険の療養病床においては、重度の認知症で身体合併症を持った患者さんを診ることができません。これを廃止することには断固反対します。」

「介護職員をはじめとする職場の労働条件の改善が必要です。現在の介護職員の処遇改善交付金は、暫定的ですが、また介護保険の施設には適用されませんが、医療保険の施設や福祉施設には適用されない等の矛盾があります。介護職員が結婚し、家族を養い、幸せな人生が送れるような診療報酬・介護報酬における処遇を目指します。」など、特に強調して主張されました。

平成二十四年度は、診療報酬・介護報酬の同時改定が予定され、第六次医療法・介護保険法改正が予想されています。これからの数年が非常に重要な時期、正念場となります。前述のを具体化するには、この診療報酬・介護報酬の同時改定における大幅な報酬アップが行わなければならない。そして病院や診療所の運営を安定化させるためには、加算ではなく、基本料の

アップが必要です。そのための財源について、伺いました。

「社会保障制度における幅広い負担と給付の議論は、今後避けて通ることはできません。その財源は、まず無駄を省くことを大前提として、特別会計・積立金の見直し、保険料等の見直し、消費税の大幅増税(その場合は消費税の増税撤廃や低所得者への配慮が必要)など、積極的な議論が必要だと考えています。」としています。

そして、その取り組みについては、「医療政策の立案は、本来あるべき医療・介護の姿を未来から現在を投影して将来のシミュレーションをすべきであり、社会保障国民会議の医療提供体制のシミュレーションを都道府県単位さらには二次医療圏単位にまで落とし込んだ政策作りがぜひとも必要だと考えています。そして、制度というもの、河北博文東京都病院協会会長が提言されているように、「フェア」で、「リーズナブル」で、「シンプル」なものでなければいけません。」と主張されました。

安藤先生には、今回の立候補を機会に、現場の声、患者さんの声を病院協会等のエビデンスのあるデータと共に吸い上げ、日本の医療・介護のため、患者さんのため、職員のため、制度政策立案役を担っていただきたいと思えます。そのためには、医師会や病院協会をはじめ、各種の職種団体が一致団結することが必要だと考えます。ぜひ結束して、日本の医療と介護のために、そして患者さんのために現場の声を政策に反映させるべく、安藤先生とともに頑張るつもりです。

# 平成二十三年二月二十日(日)開催 第六回東京都病院学会のご挨拶 主題「医療現場は、護られているか 働きやすい職場を作るために」

学会長 中西 泉(町田慶泉病院 理事長)



中西 泉

今回、当協会理事会により第六回東京都病院学会を会長を拝命いたしました。副学会長、実行委員長は、それぞれ小泉和雄(いずみ記念病院理事長)、木村厚(一成会木村病院理事長)の両氏です。第六回東京都病院学会は平成二十三年二月二十日、東医健保会館で開催されます。

この学会の主題は、「医療現場は護られているか」で、その副題として、「働きやすい職場を作るために」を掲げました。これまでの学会の主題は第一回「厳しい目が医療を育てる」、第二回「医療における信頼の創造」、医療の質向上と安全確保、第三回「病院は発言する よりよい医療のために」、第四回「医療における格差 公正な医療を目指して」、第五回「医療再生へのパラダイムシフト 現実を踏まえて」、となっており、医療とそれを取り巻く時代環境を的確に捉え、発信してきました。今回のテーマが果たして時宜に合うものであるかは

後の評価に委ねるしかなく、私自身迷ったあげくの選択です。

今回の主題の意図するところについて述べます。

我が国の医療は、国民皆保険制度導入以降、種々の不満はさておいて、概ね順調に発展してきました。これは保険制度下での規制とそれと背中合わせの保護の成果でもあります。しかし、その歩みも近年はこころびが生じ、国民にも馴染みの言葉となつてしまった、「医療崩壊」、厳密には医療機能不全という現象として目の前にあります。

しかし、世界規模で起こっている経済変動の中では、医療以外にも変革を迫られている分野、産業がいくつもあります。例えば製造業、あるいは建設業など枚挙にいとまがありません。建設業を例にとると、公共事業の縮小が受注の減少、引いては建設会社の淘汰をひきおこし、失業が増大しています。これは別の見方をすると、多くの建設の「匠」がその業界を去ることを意味します。これまで培ってきた技術は、誰が引き継ぐのでしょうか。継承先がなくなつてゆくのです。製造業もまた然りです。

では、医療は、どうでしょうか。先の業種とは異なり、医療界では人手不足解決が焦眉の急となっています。そ

の元凶と目される昨今の厳しい医療経済環境に対して医療界がこぞつて異を唱え、ようやくそれが世間にも認知され始めた感があります。では政治も介入して医療財源配分が増え、人手不足が解消されればそれだけでよいのでしょうか。私たち医療人は、外に對し求めるだけで充分なのでしょうか。先に、医療は規制と保護のもとにある、と書きました。外からの力に委ねていれば自分たちの環境は良くなるのでしょうか。この点を今回の学会では問いたいと思います。

換言すると、どの産業もそこで働く人々を自分たちで護り、育成してゆかない限り、産業としての未来に展望はなく、医療もまたその例に漏れないと思います。現実にはさまざまな基準を守ることが私たちに要請されていますが、これを以つてよしとするだけでなく、貴重な人材、いや人財としての仲間の育成定着化を医療現場ではどのように考

察、立案、行動し、成果を挙げているのでしょうか。例えば離職率に注目してみると、医療を支える専門職では、看護職と介護職の離職率の高さが目立っています。数年前の数字ですが、看護職は十六%、介護職は二十%、と多業種と比較しても高さが目立っています。

その原因が制度や医療費の低さにあることは否めません。その中であつて皆さんの病院でも定着率を高める様々な試みが行われていることと思います。「チーム医療」ということが言われてもう久しくなりました。しかし、目を他の業界に転ずると、チームによらず成り立っている産業はないといつても過言ではありません。仲間を護り、育成している日常のベストプラクティスを皆さんに紹介して頂き、互いに学びとる場となる東京都病院学会となることを今回は企画し意図しています。病院の医療を構成する各職場からの建設的報告、意見を期待します。

## 理事会報告(6月)

6月15日、平成22年度定時総会に先立ち、総務委員長より事業報告案について、経理委員長より決算報告案についての説明と監事による監査報告が行なわれ、審議の結果、総会の議案とすることが承認されました。

東京都医師会より診療所、民間病院、行政の三者が協力して、診療連携における各種問題点の解決を図り、円滑に推進するための「民間医療機関連携推進協議会」発足にともなう委員の推薦依頼があり、当協会からは稲波副会長、崎原副会長、猪口総務委員長の3名が推薦されました。

本年の東京都合同総合防災訓練は、文京区を主会場として8月29日(日)に開催されることとなりました。当協会には例年通り医療救護班として10組の協力要請がありましたので、会員病院の参加、協力をお願いいたします。

第4回地区懇談会は、区南部を対象に6月3日、18名(13病院から15名、当協会役員3名)の出席者を得て開催されました。

限られた時間でしたが、出席者全員から活発な意見や要望が出され、有意義な意見交換会となりました。6月は、18日に区西部、21日に西多摩地区、25日に区西北部、30日に区東部が予定されています。該当地区の会員病院各位には、積極的なご参加をお願いいたします。

前年度に引き続き、日本健康科学学会第26回学術大会の協賛が承認されました。

## 障害年金と診断書 平成22年4月版

定価1,890円(本体1,800円+税) / B5判 128頁

障害年金について、制度の概要、障害の認定要領、診断書の記載例および裁定請求の手続等を具体的に解説

・障害基礎年金・障害厚生年金を受けるためには、医師が記載した「診断書」が必要です。本書は、診断書の記載時に必要な全8種類の診断書様式に、計16件の詳細な記載事例を揚げ、医師の利便に配慮した格好の実務書です。

株式会社 社会保険研究所

〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル  
電話 03-3252-7901 ファックス 03-3252-7977

## 平成二十二年 経営塾開講のご案内

すでに約三百五十名におよぶ塾生を輩出

平成十四年度に河北博文会長の発議によって開講された「東京都病院協会経営塾」は、今年で九年目を迎え、これまで約三百五十名におよぶ塾生を輩出して来ました。平成二十二年度も、これまでと同様に応募された塾生には、約半年間、月二回のスクーリングで病院経営に関する総合的、専門的知識と姿勢を身に付けていただくこととなります。詳細は、「経営塾スケジュール」一覧表の通りです。

また、一口に「病院経営」と言っても、病院の種類、規模、立地によって同じ問題や課題があっても、個々の病院としての対応が変わって来ることを考えられます。そこで、経営塾では、単に講義だけでなく、全三回のグループディスカッションを取り入れていま

### 平成22年度経営塾開催スケジュール

開催日時	テーマ	講師
第1回 9月10日(金)	医療とは	都司篤晃(聖学院大学)
	医療制度とCEOの役割	河北博文(東京都病院協会)
第2回 9月17日(金)	組織管理	飯田修平(練馬総合病院)
	診療管理	福井次矢(聖路加国際病院)
第3回 10月 8日(金)	人事管理	浅見 浩(浅見社会保険労務士事務所)
	物流・業務委託	岩崎照宣(アスメディックス)
第4回 10月15日(金)	看護管理	服部清生子(河北総合病院)
	財務リスク予防策としての財務管理	鈴木善六(ヘルスマークeting研究所)
第5回 11月12日(金)	病院経営戦略とCS	望月智行(川越腎臓病院)
	医療提供体制・診療報酬改定	猪口雄二(寿康会病院)
第6回 11月19日(金)	病院における介護保険の事業戦略	遠藤正樹(日野田中病院)
	融資側から見た病院経営	宮村直人(東京都民銀行)
第7回 12月10日(金)	介護制度とCEOの役割	森名 齊(徳愛病院)
	どのような医療が望ましいか	グループディスカッション(産長:内藤誠二)
第8回 1月14日(金)	医療安全、事例に学ぶ	宮澤 潤(宮澤潤法律事務所)
	病院感染管理を含めた患者安全管理	大久保 恵(東京医療保健大学)
第9回 1月21日(金)	DPC取り組み病院	泉 智郎(河北総合病院)
	医療の質管理とDB化	長谷川友紀(東邦大学)
第10回 2月25日(金)	医療システムと医療財源	川淵孝一(東京医科大学)
	広報・マーケティング	猪口正孝(平成立石病院、南町田病院)
第11回 3月11日(金)	スピリチュアリティ	平山正実(聖学院大学)
	医療人として自分のできることは	グループディスカッション(産長:竹川勝治)

3回実施するグループディスカッションでは、東京都病院協会役員が産長を務めます。

す。参加者自らが共通のテーマに基づいて問題を検討して発表し、活発な意見交換を行うものです。三年前から導入して、参加者からも非常に参考になったと好評をいただいております。

いずれにしても、東京の病院は、全国一厳しい経営環境の中にあつて、今後、病院には中期的な展望を可能とするマネジメントの確立が不可欠となっています。病院に必要なマネージャーを少しでも多く確保するために経営塾への積極的な参加をお勧めします。

以下、ご案内の通りです。

開催日時：平成二十二年九月十日(金)より平成二十三年三月十一日(金)まで計十一回の開催

時間はいずれも午後六時~八時五十分

原則、第一・第三金曜日に開催

場所：東医健保会館

(JR信濃町駅徒歩五分)

対象：病院管理者(院長、看護部長、事務長等)、医療関連企業(代理出席可)

参加費：会員十万円 非会員二十万円

(いずれも一括納入)

お申込をいただいた方には事務局より参加費の振込先をご案内いたします。

定員：先着五十名(受講者には受講票をお送りいたします)

申込用紙に必要事項をご記入の上、東京都病院協会事務局宛FAXにてお申込み下さい。

TEL：〇三二五二七〇八九六

FAX：〇三二五二七〇八九八

E-mail：tmha@mri.biglobe.ne.jp

### 七月三十日(金)締め切り!

## 「患者図書室」設置の募集

NPO

### 「医療の質に関する研究会」

NPO「医療の質に関する研究会(略称「PQO質研」)は、今年度も「患者図書室」の設置を希望する病院を募集しております。募集の締め切りは、七月三十日(金)(当日消印有効)までです。会員病院各位の積極的な応募を期待しております。

現在、全国各地の病院に二十を超える「患者さんのための図書室」を寄贈して利用する患者さんをはじめ、医療現場の方々にも高く評価されております。

ご存知かと思いますが、PQO質研は、一九八七年に設けられた東京都私立病院会青年部会(部会長河北博文)の研究会が前身で、一九九〇年には「医療の質に関する研究会」に発展して、現在実施されている(財)日本医療機能評価機構の第三者評価事業の基盤を作りました。現在は、主として医療の安全管理や救急医療、パス法などの研究開発

に軸足を置いて活動しております。そうした中で、パス法が医療における協働性を促進するという機能があることに注目して、新たに「協働の医療」という考えを推進しております。そのために、二〇〇四年一月に日野原重明聖路加国際病院名誉院長を理事長に迎えて、「PQO医療の質に関する研究会」として再スタートを切りました。

「協働」を実現するためには、患者さんおよび家族側のヘルス・リテラシー、つまり疾病を理解して、疾病を管理する技術を向上させる必要があります。

ヘルス・リテラシーは、「医療の質向上の最後のパスだ、道のりだ」ともいわれております。

しかし、患者さんのヘルス・リテラシーを向上するためのフォーマルな仕組みというものはありません。PQO質研は、その機能を院内の図書室機能に期待しております。二〇〇六年四月、河北総合病院の中に「健康図書室」と

いう名前で患者図書室をオープンしました。PQO質研は、そのプロジェクトを全面的に協力して、院内の図書室機能のあるべき姿を実践的に追及しております。

医療者は、このような仕組みを作ることに若干おくれをとってきたのではないだろうか。医療は、単に来た人を診療すればよいという時代は過ぎたのではないだろうか。

ヘルス・リテラシーのプロジェクトの目的は、患者さんのニーズに応えた情報を提供して、患者さんの主体的な学習や、ヘルス・リテラシーの向上を支援することなどで、そのために医療施設内に新たな図書室機能を構築して、ノウハウを蓄積して、その普及を図り、医療の質の向上に寄与するものです。この機会に、多くの病院に応募していただき患者中心の医療のために何ができるかを考え、出来ることから始めてはいかがでしょうか。

## 実践しよう!地球温暖化への取り組み

### キャンペーン実施期間：6月20日~7月7日

### 環境問題検討委員会

九都県市首脳会議(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)では、5月25日、事業者や住民一人一人に省エネルギーなど具体的な行動をおこしていただくために「九都県市エコウェブ」として、平成22年6月20日~7月7日まで「実践しよう!地球温暖化防止への取り組み 始めよう・続けよう・広げよう」をテーマに取り組むことを発表しました。

当環境問題検討委員会は、こうした取り組みに協賛して、活動を会員病院にも広げていくこととしました。ぜひ、エコウェブ中の省エネ・節電行動の推進にご協力をお願いします。すでに、色々な取り組みを実施されていると思いますが、具体的には、以下のようなことがあります。身近なことから、ぜひ、実践してみてください。

「コピー機、プリンター、FAXなどを省エネルギーに設定しましょう」「パソコンの電源オプションなどをスタンバイモードに見直しましょう」「空室・不在時などのこまかな消灯・空調停止を徹底しましょう」「蛍光管、白熱灯の取り換え時期には、省エネ型ランプを使用しましょう」

その他、色々工夫して見てください。

# 研修会のご案内

## 診療情報管理勉強会第11回全体会

日時：平成22年7月1日(木) 午後7時～8時20分  
会場：東医健保会館3階会議室  
主題：「監査プロジェクト発表会」

## 事務管理部会総会記念講演

日時：平成22年7月8日(木) 午後2時～4時  
会場：東医健保会館  
主題：「東京都の医療政策の展望(仮称)」  
講師：東京都福祉保健局 医療政策部  
医療改革推進担当課長 櫻井 幸枝氏

## 診療情報管理勉強会第12回全体会

日時：平成22年7月28日(水) 午後6時～7時20分  
会場：東医健保会館  
主題：「医療の質を測り改善する  
- 診療情報管理士として貢献できること -」  
講師：(財) 聖路加国際病院 医療情報センター  
医療情報管理室マネージャー 脇田 紀子氏

【連絡・申込み先】東京都病院協会事務局  
TEL：03-5217-0896



河北 博文



安藤 たかお

六月七日(月)午後六時、夏の参院選  
比例代表で民主党から出馬を予定してい  
る、当協会副会長安藤高朗(安藤たかお)  
の東京決起集会が、芝公園・メルパルク  
東京に約  
千八百名  
の支援者  
を集めて  
開催され  
ました。

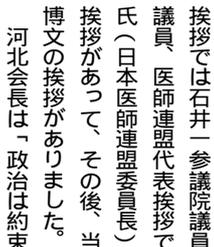


原中 勝征



日野 頌三

は、今回初  
めて主催者  
に加わった  
日本医師会  
の政治団体  
「日本医師連  
盟」を始め、  
四病院団体  
協議会と日本慢性期医療協会などの役員  
はもとより、民主党から、行政刷新担当  
大臣 蓮  
大 臣 蓮  
野 院 参 議  
院 参 議 員  
豪 志 幹  
事 長 代  
理 石 井  
一 副 代 表  
兼 参 議 院  
選 対 本 部  
長 代 理 人  
ら、十 数  
人の民主党国会議員が応援に駆け付ける  
大イベントとなりました。



蓮 舫

細野 豪志

石井 一

集会  
は、当協  
会常任理  
事猪口正  
孝(平成  
立石病院  
理事長)  
の司会で  
進めら  
れ、主催  
者代表  
蓮舫氏  
野頌三氏  
(日本医  
療法人連  
盟委員  
長)、民  
主党代表  
蓮舫氏  
は、当協  
会常任理  
事猪口正  
孝(平成  
立石病院  
理事長)  
の司会で  
進めら  
れ、主催  
者代表  
蓮舫氏  
野頌三氏  
(日本医  
療法人連  
盟委員  
長)、民  
主党代表  
蓮舫氏

任を持つこと、良い医療は良い  
国のおかしであること、政治も  
医療も信頼なくしてなにもこも  
果し得ないこと」等を強調して  
「ともかく、安藤副会長とは、  
共に医療の向上のために活動し  
て来た仲間である」として安藤  
副会長の当選をめぐって支援し  
て行くことを力強く表明されま  
した。

山積する諸問題を一人でも多くの方に理  
解していただくために、昼夜講演活動を  
展開しております。  
その中で、特に「病院の崩壊は、日本  
医療の崩壊そのものである」と主張して  
その問題解決のために病院界を代表して  
全力で活動して行くことを訴えておりま  
す。今回の東京決起集会においても、そ  
のためには「診療報酬と介護報酬は、少  
なくとも5%、できれば10%以上あげる  
ための活動をやって行く。それが日本の  
医療や介護をよりよい方向に持って行く  
第一歩につながる」と述べており、二〇  
一一年度の同時改定で、最低でもそれぞ  
れ5%プラス改定が必要と訴えておりま  
す。途中から応援に駆け付けた民主党細  
野幹事長代理にも管新政権の社会保障政  
策について「民主党の医療、介護の分野  
を前に進めて行く党のスタンスは微動だ  
にしない。今、マニフェストを作ってい  
るが、診療報酬の引き上げと介護の現場  
を生き返らせることはしっかり書かせて  
いただいている」と述べ、医療現場を知  
る安藤副会長を国政に送り出すための協  
力を求められました。

今回の決起集会は、先月二十一日の  
大阪に続き二回目です。低迷していた  
民主党の支持率が菅直人新首相の誕生  
でV字回復したものの、新人安藤候補  
の支持浸透にはまだまだ時間がかかる  
と言われています。その中で唯一、東  
京こそ、安藤候補を支持する最も力強  
い支持基盤になるものと確信します。  
会員病院各位には、病院界のために奮  
闘している安藤副会長に対して、支援  
の輪をさらに大きく広げていただくこ  
とが必要です。これからも引き続き、こ  
支援よろしくお願いします。

**PROUD**  
BRAUD元麻布  
NEW CENTURY CLASSIC

港区元麻布2丁目 全32邸 平成23年2月完成 モデルルーム公開中 [www.p-motoazabu.com](http://www.p-motoazabu.com)

■「ブラウド元麻布」物件概要●所在地/東京都港区元麻布2丁目322番3(地番)●交通/都営地下鉄大江戸線・東京メトロ南北線「麻布十番」駅下車徒歩9分、東京メトロ日比谷線「広尾」駅下車徒歩12分●総戸数/32戸●販売戸数/9戸●構造・規模/RC造6階、地下1階建(建築基準法上は地上5階、地下2階建)●敷地面積/2,249.10㎡●建築面積/1,348.59㎡(建築確認申請面積)●延床面積/8,424.39㎡(建築確認申請面積)(容積対象外面積4,008.82㎡含む)●用途地域/第一種中高層住居専用地域●間取り/2LDK~3LDK●専有面積/112.16㎡~175.96㎡●バルコニー面積/5.09㎡~12.24㎡●ルーフバルコニー面積/29.49㎡~36.75㎡(月額使用料:1,180円~1,470円)●テラス面積/45.06㎡(月額使用料:1,800円)●ランクルーム面積/3.08㎡~4.10㎡(使用料なし)●建物竣工時期/平成22年12月下旬●入居時期/平成23年2月下旬●分譲後の敷地の権利形態/各戸専有面積割合による所有権の共有●管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成していただき、管理会社に委託予定。●建築確認番号/第ER109017880号(平成21年7月6日付)※計画変更の予定があります。●販売価格/19,500万円~45,000万円●管理費(月額)/69,500円~109,100円●修繕積立金(月額)/10,270円~16,110円●CATV使用料(月額)/882円●管理準備金(引渡時一括払)/44,100円~69,200円●修繕積立基金(引渡時一括払)/3,477,000円~5,454,800円●駐車場/総戸数に対して46台(平置19台、機械式27台、月額使用料:43,000円~58,000円)●駐輪場/総戸数に対して32台(月額使用料:平置式 1,000円、スライド式 500円)●バイク置場/総戸数に対して3台(月額使用料:5,000円)●売主/野村不動産株式会社・国土交通大臣免許(11)第1370号・(社)不動産協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟・東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル●施工会社/株式会社竹中工務店東京本店※本概要は、平成22年6月15日現在のものです。先着順申込受付中につき、お申込済みの場合がございます。予めご了承ください。※申込に関しては、資産状況や個人情報確認の上、お断りをさせていただきます。●広告有効期限/平成22年7月末日

お問い合わせは  
(10時~18時 水・火・水・休)

0120-706-500 野村不動産

現地には係員は常駐しておりません。  
必ずフリーダイヤルにて事前にご予約ください。